

体験してみよう! 「聞き書き」

東日本腎不全研究会
上星浩子（群馬大学大学院）



「聞き書き」をやってみよう！



1. 「聞き書き」の方法
2. 本日の「聞き書き」ワークについて
3. 必要物品について：

メモ（付箋）、筆記用具、カード、マーカー、マジック、シールなど



「聞き書き」の方法

語り手の見つけ方

1. 話を聞いてみたい人や語りたい人を探す
2. 関係者の了解のもと、相手を選んでもらう
3. 語り手の了解を本人や家族から得る

語り手がみつかったら…

1. 語り手や家族が了解したら話を聞く日程を決める
2. 語ってくださる人の性別、年齢、透析患者の場合は透析日や外来日などを事前に確認する
3. 対象の体調や状況を確認し、話したいことを語ってもらう
4. 事前に語ってもらう内容として「子供の頃の思い出」「頑張っていること」「透析や病気について思っていること」「伝えたいこと」など、あらかじめいくつかの視点を伝える

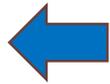
一般的な
方法



本日の「聞き書き」の方法（カード版）

患者さんなどの対象が語り手となり、看護者がそれをきき、その対象者の語りをカードに書いて対象者の自分史のようなものを作成します！

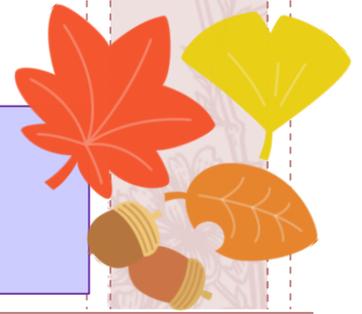
語り手がお話します



今回のWSの語り手は、模擬患者です

1. 患者の会話のなかから、印象に残ったところをメモしておく
 2. 自分がイメージした対象者像をふくらませる。特に対象者の良いところをイメージする
 3. 対象者の言葉を生かしながら、対象者を表す語りを数行で良いので書き起こす
 4. 患者の元気が出るような（レジリエンスが高まる）カードを作る（A4用紙二つ折りのような形態で良い）
カードに患者の言葉を記入したり、シールやイラストなどを使い、自由に飾り付ける
1. 患者にカードを確認してもらい、タイトルを患者自身につけてもらう（今回は自分でタイトルをつける）
 2. 出来上がったカードを患者にプレゼントする（今回はお持ち帰りください）

本日の「聞き書き」の方法（カード版）



**必要物品：メモ（付箋）、筆記用具、カード、マーカー、マジック、シールなど
（テーブルにあるものをご自由にお使いください）**

所要時間	内容	詳細
5分	模擬患者さんの語り	<ul style="list-style-type: none">● 看護師役が模擬患者さんにお話を聞きます。● 聞きながら、患者さんの会話のなかから、印象に残ったことを付箋にメモしてみましょう。● 患者さんの会話から、患者さんの状況や思いやイメージして患者像をふくらませてみましょう。特に患者さんの良いところをイメージするとよいです。
10分	カードの作成	<ul style="list-style-type: none">● 患者さんの言葉を活かしながら、その人を表す語りを数行で良いので書き起こしてみましょう。● カードに患者さんの言葉を記入したり、シールやイラストなどを使い、自由に飾り付け、患者さんが元気が出るような（レジリエンスが高まる）カードを作成できるとよいです。● 表紙にタイトルをつけましょう（タイトルは対象者につけてもらうのが良いですが、本日は対象者をイメージしてつけてみましょう）。
15分	グループ発表	<ul style="list-style-type: none">● グループ内でカードを披露し、作成意図や感想を述べて、カードを紹介してみましょう。最後にどなたか発表をお願いします。作成したカードはお持ち帰りください。

「聞き書き」カードを作成してみましよう

わからないことがございましたら、岡研究室HP右上に表示されているお問い合わせからご連絡ください。

